



2021年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社 赤阪鐵工所
代表者名 取締役会長兼社長 杉 本 昭
(コード番号 6022 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役執行役員総務本部長
塚 本 義 之
(TEL. 054 - 685 - 6081)

(訂正・数値データ訂正)

「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

2021年10月28日に発表いたしました「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容について一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正理由

「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の公表後、記載内容の一部に訂正が必要となる誤りあることから、当該事項を訂正いたします。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付して表示しております。

【添付資料2ページ】

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2)財政状態に関する説明 ②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は 150 百万円(前年同期は 577 百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益 126 百万円、減価償却費 166 百万円及び棚卸資産の減少額 137 百万円等の増加に対し、仕入債務の減少額 286 百万円、その他の負債の減少額 271 百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 91 百万円(前年同期は 15.6%減)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入 34 百万円に対し、固定資産の取得による支出 131 百万円等によるものであります。

(訂正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は166百万円(前年同期は577百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益126百万円、減価償却費166百万円及び棚卸資産の減少額137百万円等の増加に対し、仕入債務の減少額286百万円、その他の負債の減少額288百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は74百万円(前年同期比30.9%減)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入34百万円に対し、固定資産の取得による支出115百万円等によるものであります。

【添付資料6ページ】

2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他の負債の増減額 (△は減少)	△34,439	△271,566
小計	591,192	△198,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,575	△150,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
固定資産の取得による支出	△111,411	△131,720
その他	△184	△2,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,824	△91,041

(訂正後)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他の負債の増減額 (△は減少)	△34,439	△288,049
小計	591,192	△214,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,575	△166,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
固定資産の取得による支出	△111,411	△115,238
その他	△184	△2,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,824	△74,559

以上